

土木について

久留米支部 久留米県土整備事務所 技師 甲斐田 みらの

福岡県庁に入庁しはやくも二年が経とうとしています。これまでに体験したこと、感じたことを書こうと思います。

1 自己紹介

私の下の名前は「みらの」といいます。あまり聞かない名前で、普段から名前の由来について興味をもっていた機会が多いので、名前の由来について書いてみようと思います。

「みらの」は父がつけてくれた名前です。父はサッカーが好きで、好きなサッカーチームは「AC ミラン」、本拠地はイタリアのミラノです。私の生まれる少し前、2002-03 シーズンに開催された UEFA チャンピオンズリーグにて優勝を成し遂げました。自分の好きなチームが優勝し、世界で活躍している姿をみて、「世界に羽ばたいていくような子になってほしい」と、今の名前になったそうです。

あまり人と被ることがない名前ということもあり、とても気に入っています。

2 土木の道に進むきっかけ

きっかけは高校選択の時です。当時の私は、目指す夢も就きたい職業もなかったため、志望する高校がありませんでしたが、親族の影響もあり、公務員になりたいと思い工業高校を選択しました。

高校では測量、製図、土質試験など普通高校では学ぶことができない特殊な授業を通し、土木の面白さにひかれ、土木に関する仕事に就きたいとつよく思いました。

3 維持係で感じたこと

昨年四月、道路維持課維持係に配属になりました。県道の補修、橋梁点検、補修、防災工事、小動物の回収など想像よりも、幅ひろい業務内容に驚いたことを覚えています。また、久留米の維持係は毎日電話が多く、苦情や要望数が多い中で通常業務をこなしながら、解決していく先輩方はとてもかっこよく、自分もこのような土木職員になりたいなと思いました。

自分が担当し完成した工事で一番印象に残っているのは歩道橋の塗装塗替工事です。入庁し半年後に担当した工事ですが、舗装工事などと全く別物で困惑しながら日々奮闘していたのをよく覚えています。ロット数や塗装の剥離方法など塗装工事について調べ、近隣学校と調整をしながら工事を完成させました。歩道橋が着工前とは全く違う、新橋同様のきれいな姿になったのをみてとても感動したのを覚えています。



4 おわりに

毎日が勉強で悩むことも多いですが、先輩方のいいところを盗み、自分なりに人の役に立つような仕事をしていきたいと思っています。